

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会、要望等は検閲班 (TEL 2171, 2174) に。
3. 本電の主管変更は記帳班 (TEL 2172) に連絡ありたい。

電信写

Q36RA 10-33

政務次官
典房
長官官審審長長

博代公外査
表使研審

監察人電在儀警
括書対文会厚情才

調企長 審企情調

領移長 参一二旅査移

長 参地中東了
参北一西 二難
東対

長 審北北保

中南長 審一二

長 審西ノ洋
西東

近ア長 審一二アア

長 次 経国資漁
審総 経国資博

長 審海

協長 審技開
参国二理

長 審企軍專
参政経

科審 科原

長 審道内文
文
参ブ外二

総番号 R038514

主管

年 月 27日 15時 40分 中 国 発 重 中
59年 03月 27日 16時 41分 本 省 着

外務大臣殿 鹿取大使

総理訪中 (コヨウホウ秘書記との会談)

第1386号 極秘 至急 (ゆう先処理) Q36RA

往電第1338号に關し

冒頭往電2. (6) に次のとおり追加願いたい。

1. 「……このようなかん境が出来ない限り、わが国が北鮮と接近することは難しい。」の後に「朝鮮停戦協定のように、中、米、南北朝鮮が入ることになれば、ソ連は口出し出来ないであろう。」を追加。

2. 「……中国が朝鮮半島の情勢のカギをにぎっている」の後に「(ここで、コ秘書記より、総理閣下の御見解は十分理解することが出来たが、日本側はおそらく北鮮に対する中国の影響力を過大評価しているものと思う旨の発言があつた。)」を追加。

(了)